

平成23年3月期決算説明資料

平成23年5月



セブン銀行



ハイライト 1頁

東日本大震災の影響 2頁

損益状況 3頁

A T M受入手数料の要因別増減 4頁

A T M設置台数の推移 5頁

A T M利用件数と受入手数料単価の推移 6頁

口座関連の状況 7頁

財務状況 8頁

今後の取り組み方針 9頁

A T M事業の強化 10頁

金融ビジネス事業の推進 11頁～12頁

配当方針 13頁

震災復興支援、節電対策等の取り組み 14頁

※参考資料については、当社ホームページからご覧いただくことができます。
(<http://www.sevenbank.co.jp/ir/library/presentation/>)

本資料には、株式会社セブン銀行の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しています。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他A T M事業及び金融サービス事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。

【2010年度決算】

- ◆ATM設置台数・預貯金金融機関取引は着実に増加。一方、ノンバンク取引の減少・経済条件の見直しが大きく影響し減収減益
- ◆計画比では、経常収益は未達も、経常費用の圧縮により経常利益は計画達成
- ◆年2回の配当と、自己株買いを実施

①配当金 中間配当 2,600円 / 期末配当 2,600円	} 総還元性向 70.3%
②自己株買い 取得株数 29,147株 / 取得金額 49.9億円	

【2011年度決算の見通し】

- ◆ATM設置台数の拡大と新規利用者の開拓を主因に増収を見込む
- ◆新サービスの開始と第3世代ATMの導入に伴う減価償却費等が増加するなか、引き続き経費コントロールに努め、増益を目指す

1、総利用件数の前年同期間比増減

(単位 %)

	3/1～3/10	3/11～3/20	3/21～3/31	3月計	4月計
全 国	100.3	90.1	97.7	96.2	103.9
被災地域(岩手、宮城、福島、茨城)	98.4	41.3	67.4	69.2	87.6
首都圏	101.4	90.2	100.7	97.7	109.5
その他地域	99.6	99.1	100.4	99.8	101.3

直後は、被災地域の取引を中心に大きく落ち込んだものの、足元は震災前の水準に回復

2、ATM休止台数

3月11日	3月20日	3月31日
約2,100台	約400台	70台

3、震災に伴う特別損失

ATM等資産の滅失により、合計356百万円を2010年度決算に計上

4、2011年度中の第3世代ATM入替は、当初計画より減少

部品の製造、生産制約から、2011年度は約3,000台から約1,200台に変更

損益状況



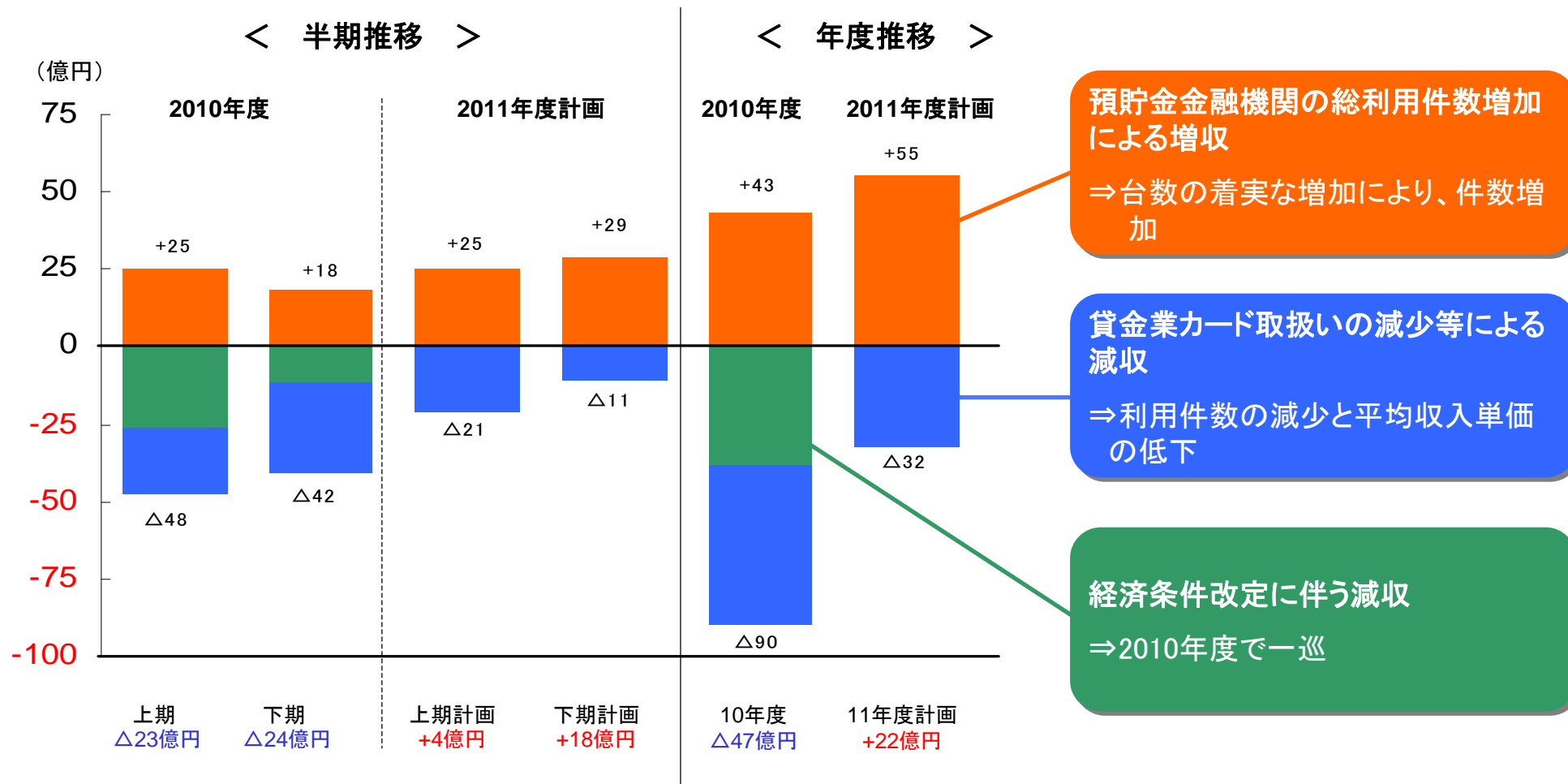
(単位: 億円)

	2009年度 通期実績	2010年度		2011年度計画				
		修正計画 (2010年11月)	通期実績	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	888	852	839	△ 49	868	29	437	6
うちATM受入手数料	852	819	805	△ 47	827	22	418	4
経常費用	584	578	565	△ 19	590	25	291	10
うち資金調達費用	21	19	20	△ 1	20	0	10	0
うちATM設置支払手数料	90	94	93	3	98	5	48	1
うち業務委託費	139	144	142	3	151	9	75	4
うち保守管理費	35	41	39	4	44	5	22	4
うち土地建物機械賃借料	24	21	21	△ 3	10	△ 11	4	△ 7
うち減価償却費	128	118	116	△ 12	127	11	60	6
経常利益	304	274	274	△ 30	277	3	145	△ 4
特別損益	△ 1	△ 0	△ 4	△ 3	△ 0	4	△ 0	△ 0
法人税等合計	123	111	109	△ 14	112	3	59	△ 1
当期純利益	179	162	160	△ 19	164	4	86	△ 2
期末ATM設置台数(台)	14,601	15,400	15,363	762	16,300	937	15,800	816
ATM受入手数料単価(円)	147.9	135.9	135.3	△ 12.6	131.2	△ 4.1	131.9	△ 5.0
平均利用件数(件/台/日)	114.4	113.5	112.3	△ 2.1	111.9	△ 0.4	114.1	△ 1.3
総利用件数(百万件)	590	617	609	19	647	38	325	15

注1 計数は全て単位未満切捨て

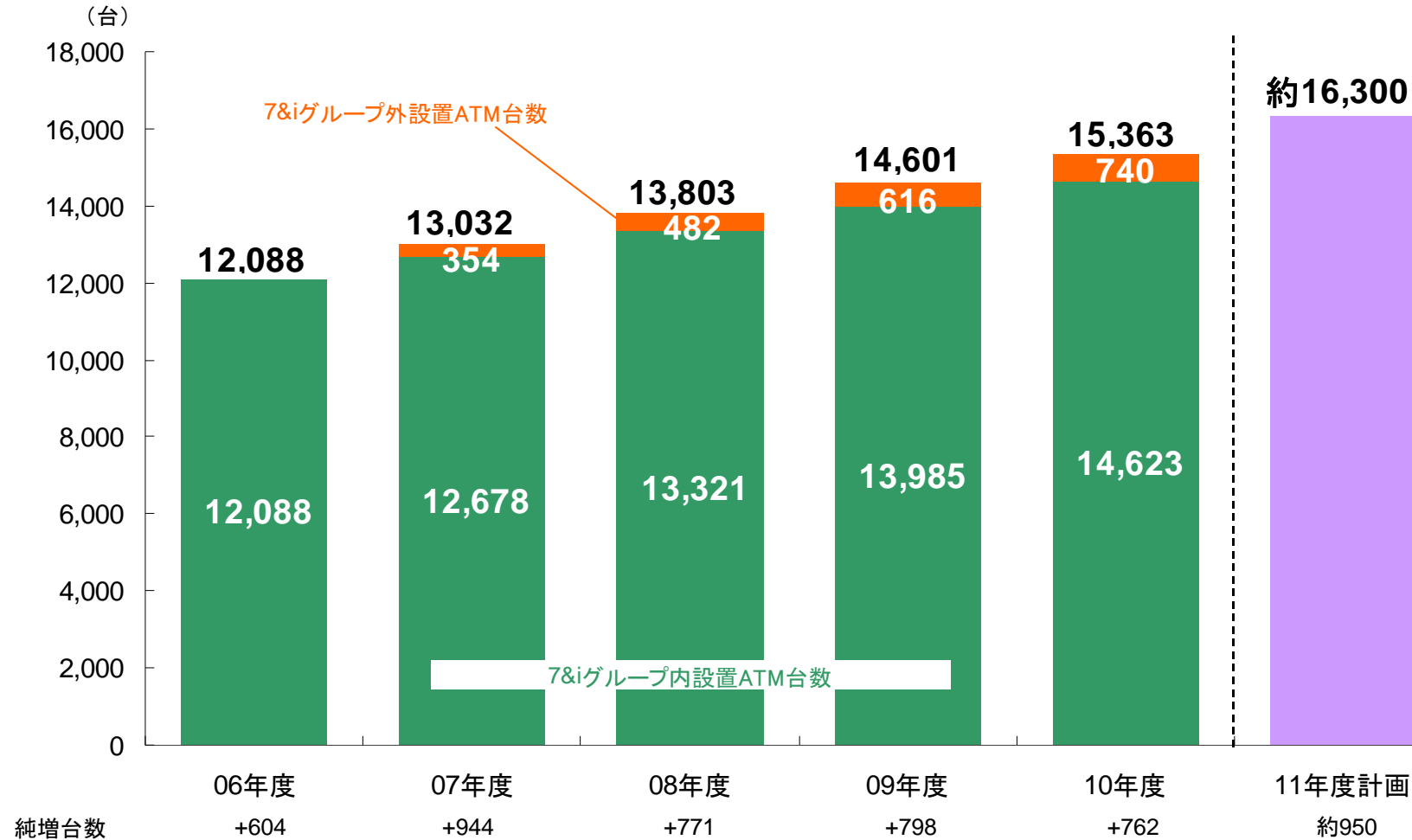
注2 前年差異及び計画差異は億円単位(総利用件数は百万件単位)で比較し、単位未満切捨て

ATM受入手数料の要因別増減(前年同期間比)



ATM設置台数の推移

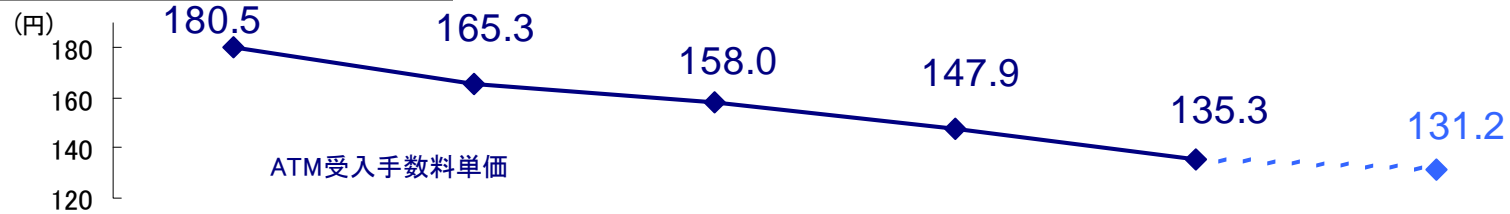
ATM設置台数の推移(年度末)



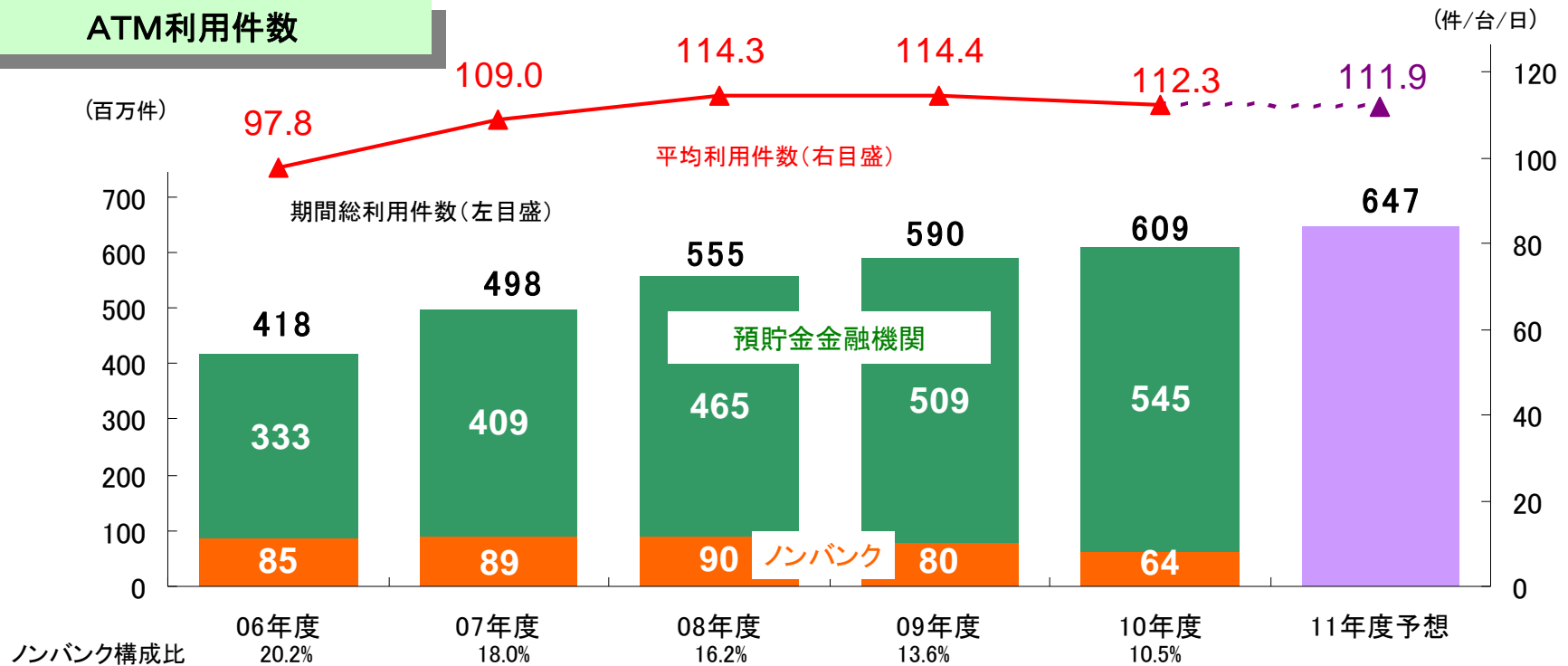
注 10年度の台数は、2011年3月11日に発生した「東日本大震災」の影響により、サービスを休止しているATM70台を含む
(宮城県31台、福島県28台、茨城県5台、栃木県2台、埼玉県2台、千葉県2台)

ATM利用件数と受入手数料単価の推移

ATM受入手数料単価

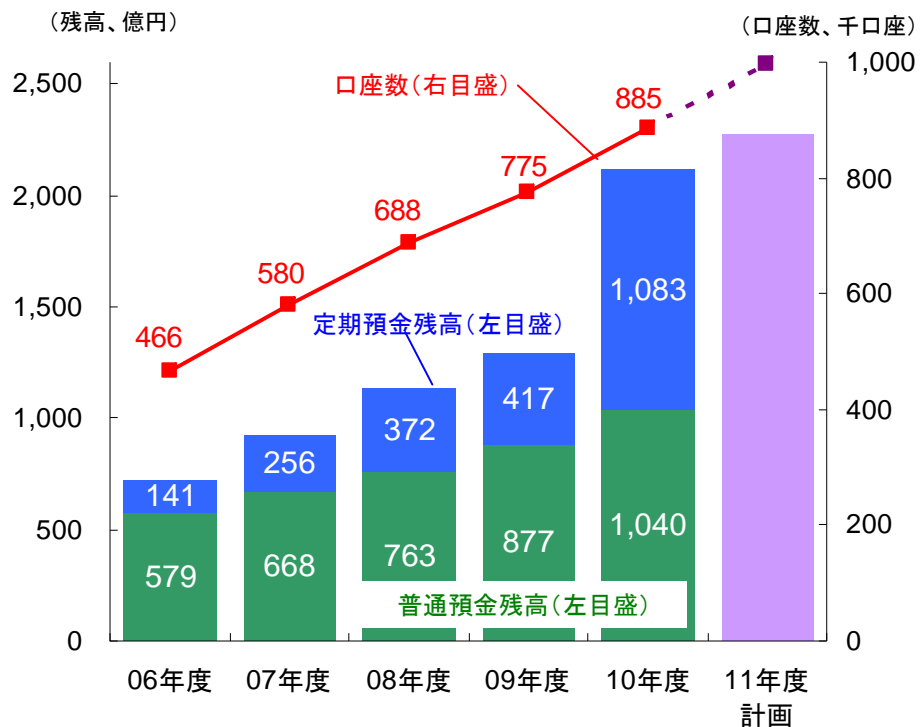


ATM利用件数



注1 平均利用件数、総利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず
 注2 期間総利用件数は単位未満切捨て、平均利用件数、ATM受入手数料単価、取引件数構成比は小数点第2位以下切捨て
 注3 ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上入金等>)で算出
 注4 本資料におけるノンバンクは、証券会社、生命保険会社、その他金融機関の合計

セブン銀行預金(個人)の状況



- ・冬のボーナスシーズンにあわせ、定期預金にキャンペーン特別金利を設定

期間 : 2010年11月22日～2011年1月30日

適用金利 : 1年物年0.4% (従来比 +0.2%)

個人向けローンサービスの状況

- ・極度額増額も視野に入れ、契約者の開拓・拡大に向けた活動を推進

	2010年度実績	2011年度目標
ローン契約口座数	9千件	20千件
ローン残高	536百万円	2,400百万円

注: 単位未満切捨て

海外送金サービスの状況

- ・2011年3月22日、インターネット・モバイルバンキングでサービス開始。ATMでは、7月開始予定

財務状況

貸借対照表

ATM装填用現金、台数増加に伴い増加

主に為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保として必要な有価証券

(ATM仮払金)
提携先のお客さまの出金取引時に提携先に代り資金をお支払いすることにより一時的に発生するもの(翌営業日に資金決済。期末日が休業日の場合は、決済ができないことから増加)
なお、ノンバンク分は当社法人口座で当日中に決済するため、原則として、B/Sに残高が残ることはない

主にATM

ソフトウェア、ソフトウェア仮勘定

現金預け金	3,850(+ 908)
有価証券	999(+ 105)
ATM仮払金等	754(+ 53)
有形固定資産	93(△ 18)
無形固定資産	186(+ 20)
繰延税金資産 11	
貸倒引当金 △0	

貸出金 5

コールマネー
28(△105)

コールローン
100(△100)

(単位:億円)

預金(個人)	2,123(+826)
預金(法人)	1,003(+211)
譲渡性預金	206(+103)
借入金	200(△ 110)
社債	900(-)
ATM仮受金等	390(△ 2)
資本金	305(-)
資本剰余金	305(△ 12)
利益剰余金	533(+ 57)
その他有価証券評価差額金 +0	
新株予約権 1	

負債
4,855
(+926)

賞与
引当金 3

純資産
1,145
(+46)

流動性預金:1,718億円
定期性預金:1,406億円

2回債(06年発行)360億円(5年)
3回債(06年発行)240億円(7年)
4回債(09年発行)100億円(3年)
5回債(09年発行)200億円(5年)

(ATM仮受金)
提携先のお客さまの入金取引時に提携先に代り一時的にお預かりするもの

財務健全性

●単体自己資本比率(国内基準)

51.21%(速報値)

●格付(2011年3月末現在)

S & P AA-(長期発行体)

R & I AA(発行体)

資産 6,000(+ 972)

負債+純資産 6,000(+ 972)

注 ()は10年3月末との比較。百万円単位で比較し、単位未満切捨て

【ATM事業の強化】

設置場所の拡大と
新規利用者の開拓

【金融サービス事業
の推進】

個人向けローンサー
ビス・海外送金サー
ビスの本格展開

【新事業の開拓】

海外ATM展開や銀行
事務受託等の新規
ビジネスの開拓



次の10年に向け、ATM利用層の更なる拡大と
新たな収益の実現を目指す

ATM事業の強化

ATM利用者の開拓と設置場所の拡大

「近くて便利なATM」の更なる認知向上や設置場所の積極的な拡大により、総利用件数の着実な増加を図る

■新たな利用者の開拓・拡大

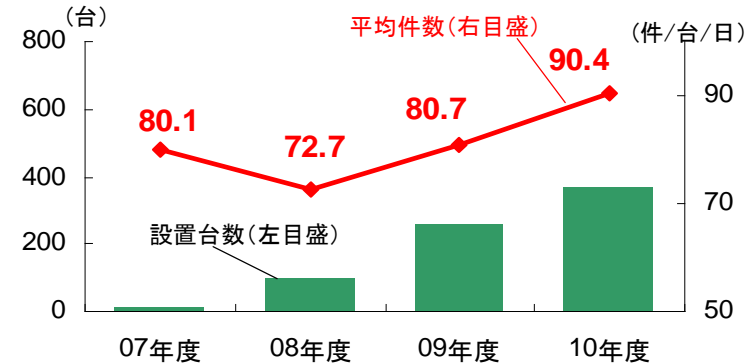
- ・潜在ニーズの掘り起こし
⇒中高年、主婦層を中心に、安心・安全・便利を訴求
- ・ATM提携先の拡大
⇒S E J未進出地域の金融機関等へもアプローチ
- ・提携金融機関の店外ATM削減による顧客シフト

■設置場所の拡大

- ・グループ外設置の強化
⇒営業担当の増員と紹介ルート of 拡大
⇒首都圏・大阪圏の商業施設を中心に積極展開

■グループ外設置の状況

《設置台数・平均件数の推移》



《設置場所の内訳》

	07年度	08年度	09年度	10年度
空港	9	22	30	30
駅・交通系	1	24	61	71
商業施設	—	31	126	210
その他	3	21	37	59
合計	13	98	254	370

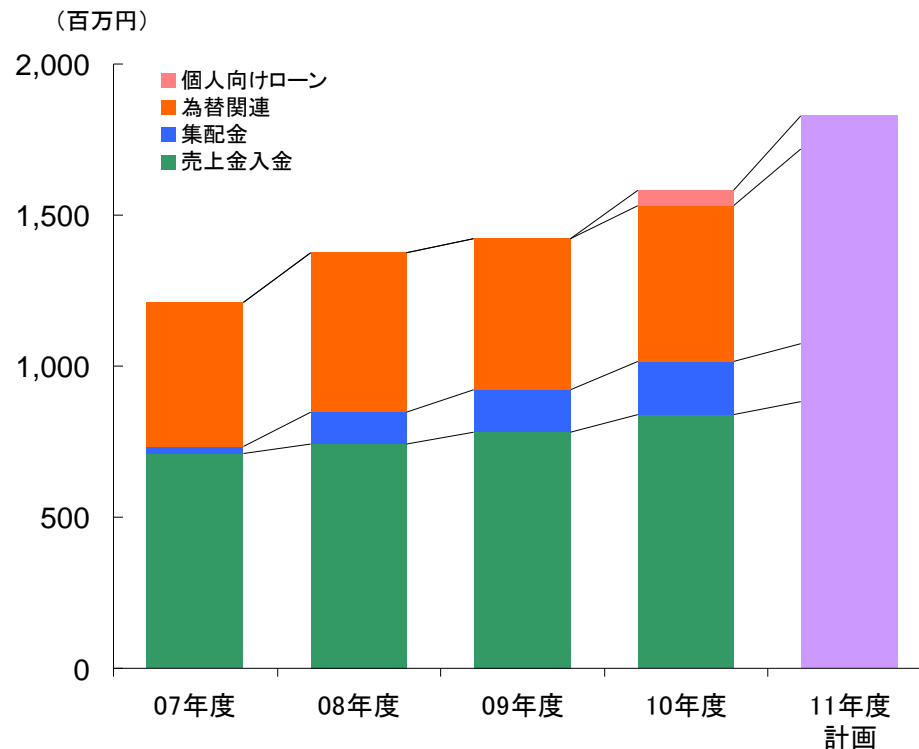
注1 設置台数、平均件数、設置場所の内訳には、証券会社への設置分の状況は含まず
注2 証券会社への設置以外のグループ外設置は、07年度7月設置開始

金融サービス事業の推進

金融サービス事業の推進

充実したATMネットワークを背景に、便利な金融サービスの拡充による収益の多様化を目指す

《口座関連サービスによる収入の推移》



■既存サービスの推進

- ・ATM、ネット、モバイルによる振込み
- ・夜間金庫代わりに売上金入金サービス
 - …セブン-イレブン以外への入金先拡大
2007年度/4社 ⇒ 2010年度/93社
- ・集配金サービス
 - …10年度実績
イトーヨーカドー/43店 ヨークマート/65店
赤ちゃん本舗/13店

+

■新サービスの拡充

- ・海外送金サービス
- ・個人向けローンサービス

海外送金サービス

- ・2011年3月22日より、インターネット・モバイルバンキングでサービス先行開始
- ・サービスの早期安定化、ビジネスの拡大を図る
 - ⇒ A T Mでのサービスは2011年7月開始予定
 - ⇒ 国内の外国人コミュニティやウエスタンユニオン等との連携により利用層の早期拡大を図る



3～5年以内に、100万件を目指す

《サービスの特徴と手数料》

- ・24時間365日送金可能
- ・安価で分かりやすい送金手数料
- ・受取拠点が豊富 (約200カ国40万箇所)
- ・最短数分で受取可能

送金金額	送金手数料例	
	セブン銀行	他行例
10,000円以下	990円	4,000円
10,001円以上～ 50,000円以下	1,500円	
50,001円以上～ 100,000円以下	2,000円	

《マーケット規模》

国籍別外国人登録者数概算 (千人)

中国	680
フィリピン	210
韓国	580
ブラジル	270
その他	460
合計	2,200

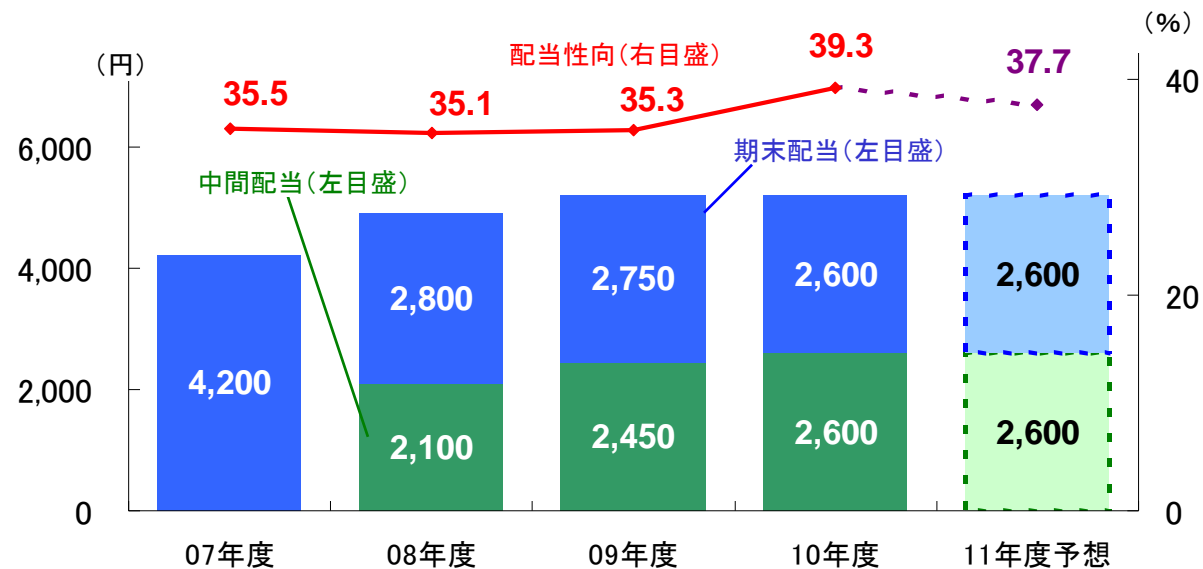
※2010年7月7日公表の政府統計参考

配当方針

方針

継続的な安定配当の実現を目指し、配当性向は年間35%を最低目標に、中間配当及び期末配当の年2回配当を実施する。

配当金・配当性向の推移



注 08年度から、中間・期末の年2回配当実施

復興支援

■義援金募金活動

- ・被災地への義援金募集のため、インターネットで募金受付(3月14日~5月31日予定)

	セブン銀行	(参考) 7&iグループ全体
3月末まで	1126万6772円	28億 24万 133円
4月末まで	218万8920円	5億5125万6759円

■被災地域で移動ATMサービス

- ・2011年5月中に順次稼動予定(3台)

節電対策

■取り組み予定

- ・ATM関連
 - ⇒取引画面の省エネモード切替までの待機時間を短縮
 - ⇒第2画面の輝度を常時引き下げ
 - ⇒東電管内を中心に省電力の第3世代ATMに入替(現行機に比べ約48%節電)
- ・その他
 - ⇒ATM設置ブース(7-11以外)の看板消灯
 - ⇒オフィス全体での節電